

案
製品生産及び造林事業請負契約書

1 事業名、請負物件、契約面積、請負予定数量、請負予定単価、請負予定金額、事業場所及び生産完了検査場所

事業名	請負物件	契約面積 (ha)	請 負 予定数量 (m3)	請負 予定 単価	請負予定金額	事業 場 所	生産完了 検査場所
製品生産 及び森林 環境保全 整備事業 (和佐良 比山国有 林)	經常皆伐	3.91	703		請負金額 円也 (うち取引に係る消費税及び地 方消費税額 円也)	和佐良比 山国有林 75 い 1 林小班外 20 (別紙 1、 別紙 2 請負 事業内訳書 のとおり)	発注者指 定の場所
	經常間伐	2.34	55				
	保育間伐 (活用型)	59.83	1,742				
	素材検知 天 I 地拵	(3.91)	(2,500)				
	合 計	66.08	2,500				

2 事業期間

自 契約締結日の翌日
至 令和 9 年 2 月 26 日

3 選択条項 別冊約款中选择される条項は次のとおりである。
(選択されるものは○印、削除されるものは×印。)

適用削除の区分	選択事項		選択条項
×	契約保証金の納付		第 4 条第 1 項第 1 号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第 4 条第 1 項第 2 号
×	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証		第 4 条第 1 項第 3 号
×	公共工事履行保証証券による保証		第 4 条第 1 項第 4 号
×	履行保証保険契約の締結		第 4 条第 1 項第 5 号
○	支給材料及び貸与品		第 15 条
×	前金払	分の 以内	第 35 条第 1 項
×	中間前金払		第 35 条第 4 項
○	部分払	月 1 回以内	第 38 条
×	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第 40 条

4 支給材料及び貸与物件

品 名	品質規格	数 量	引渡予定場所	引渡予定月日
検知記号印	円型	1 本	三陸北部森林管理署久慈支署	

5 特約事項

別紙 3 及び別紙 4 のとおり

上記の事業について、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び令和 8 年 7 月 30 日に交付した国有林野事業製品生産事業請負契約約款及び国有林野事業造林事業請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書 2 通を作成し、当事者記名押印の上、各自 1 通を保有する。

令和 8 年 月 日

発注者 岩手県久慈市夏井町大崎 14-12
分任支出負担行為担当官
三陸北部森林管理署久慈支署長 村上 健児

請負者

請負事業内訳書

林小班	伐区	材種	作業工程	予定数量	備考
75い1		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	202m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75い8		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	5m ³	經常（定性間伐）
75い9		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	14m ³	經常（定性間伐）
75ろ3		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	70m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75は3		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	83m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75は4		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	63m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75は6		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	74m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75は7		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	82m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75に1		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	267m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75に2		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	66m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75に4		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	138m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
75に5		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	209m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
83い7		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	36m ³	經常（列状間伐）
83い8		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	373m ³	經常（皆伐） 一貫請負（天Ⅰ地拵）
83に2		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	153m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
83ほ1		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	42m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
83ほ2		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	102m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
83ほ3		一般材 低質材	伐倒・集材・造材 ・巻立・小運搬	77m ³	保育間伐（活用型） 列状間伐
小計				2,056m ³	

請負事業内訳書

[illegible]

請負事業内訳書

[illegible]

請負事業内訳書

[illegible]

別紙 3

特約事項（製品生産事業）

農林水産省では、専門家による検討等を重ね、今般、野生いのししにおけるアフリカ豚熱（以下、「ASF」という。）の感染確認時の具体的対応が取りまとめられ、都道府県へ通知されたところ。

ASFは、ASFウイルスが豚やいのししに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大し、有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられている。

このことから、下記について順守すること。

記

1. 平時における対応について

山林での作業用の靴の履き分けや、下山時や帰宅時の靴及びタイヤの土落とし等、感染防止対策に協力すること。

また、野生いのししの死体発見時には死体が所在する県の家畜衛生部局に速やかに通報するとともに、当該森林管理署等へ連絡すること。

2. 感染の疑いが生じた場合の対応

ASF対策として、野生いのししの感染が確認された場合の各県が実施する防疫措置に基づき、消毒ポイントにおける消毒の実施や帰宅後の靴底の洗浄消毒等に協力すること。

また、各県の行う立入制限等の防疫措置等を踏まえ、本契約の作業を一時中止する可能性がある。

一時中止となった場合は、国有林野事業製品生産事業請負契約約款第 20 条により対応する。

特 記 仕 様 書

- 1 虫害時期においては、防虫対策として薬剤散布を行い製品の品質管理に努めること。
- 2 特別な事情がある場合には、国有林材の生産時期及び数量を変更することがある。
- 3 林業機械が林道を走行する場合は、雨天時を避ける等林道の保全に努め、販売した丸太を運搬する時の支障とならないようにすること。

- 4 本事業地は、国有林材（製品）の安定供給システム販売における直送システムの対象となる可能性がある物件である。

安定供給システム販売の公募において直送システムに係る企画提案があり、協定締結に至った場合には、製品生産事業請負標準仕様書第34条第2項に基づき、封印の実施を委任する。

また、山元土場での巻立経費および検知数量を直送システムに対応した内容に変更し、その実施に当たっては変更契約を締結するものとする。

※直送システムとは、山元土場における検知を行わず、安定供給システム協定者が山元土場から自ら運搬し、原木選別機等により計測された本数および材積を採用する方法をいう。